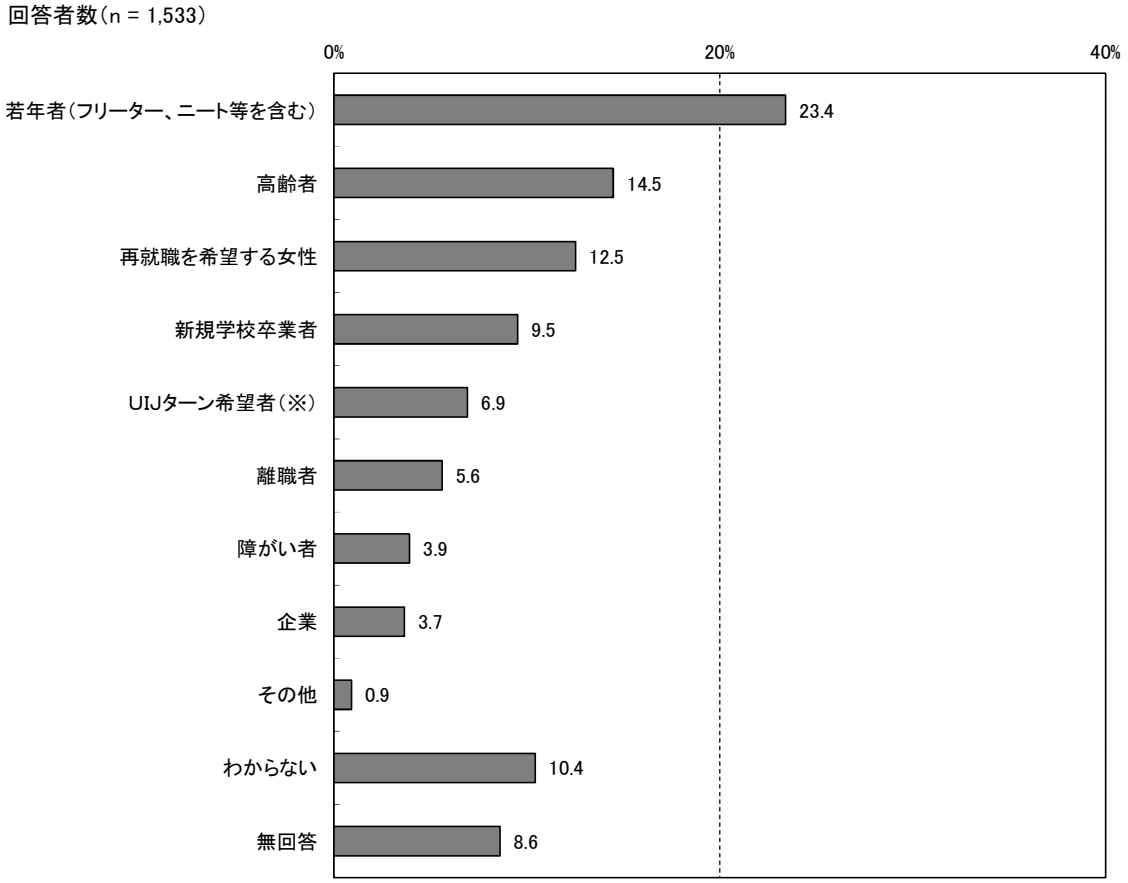
問２２　雇用対策の取り組み

問２２　あなたは、岐阜県に特に重点的に取り組んでほしい雇用対策の対象は誰ですか。（１つだけ）

全体（図 22-1）でみると、「若年者（フリーター、ニート等を含む）」が 23.4%と最も高く、次いで「高齢者」（14.5%）、「再就職を希望する女性」（12.5%）の順となっている。

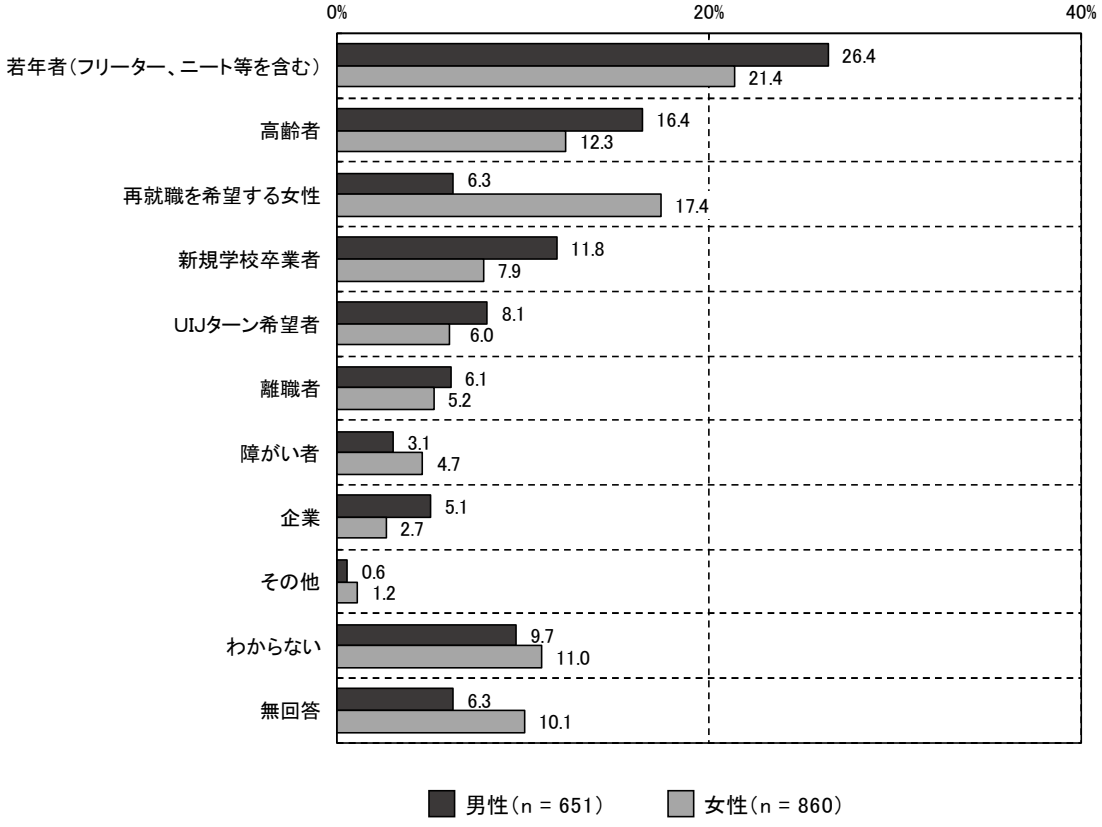
図 22-1　雇用対策の取り組み



※ UIJターン：現時点では岐阜県外に居住・就職しているが、今後岐阜県内への居住・就職を希望している方

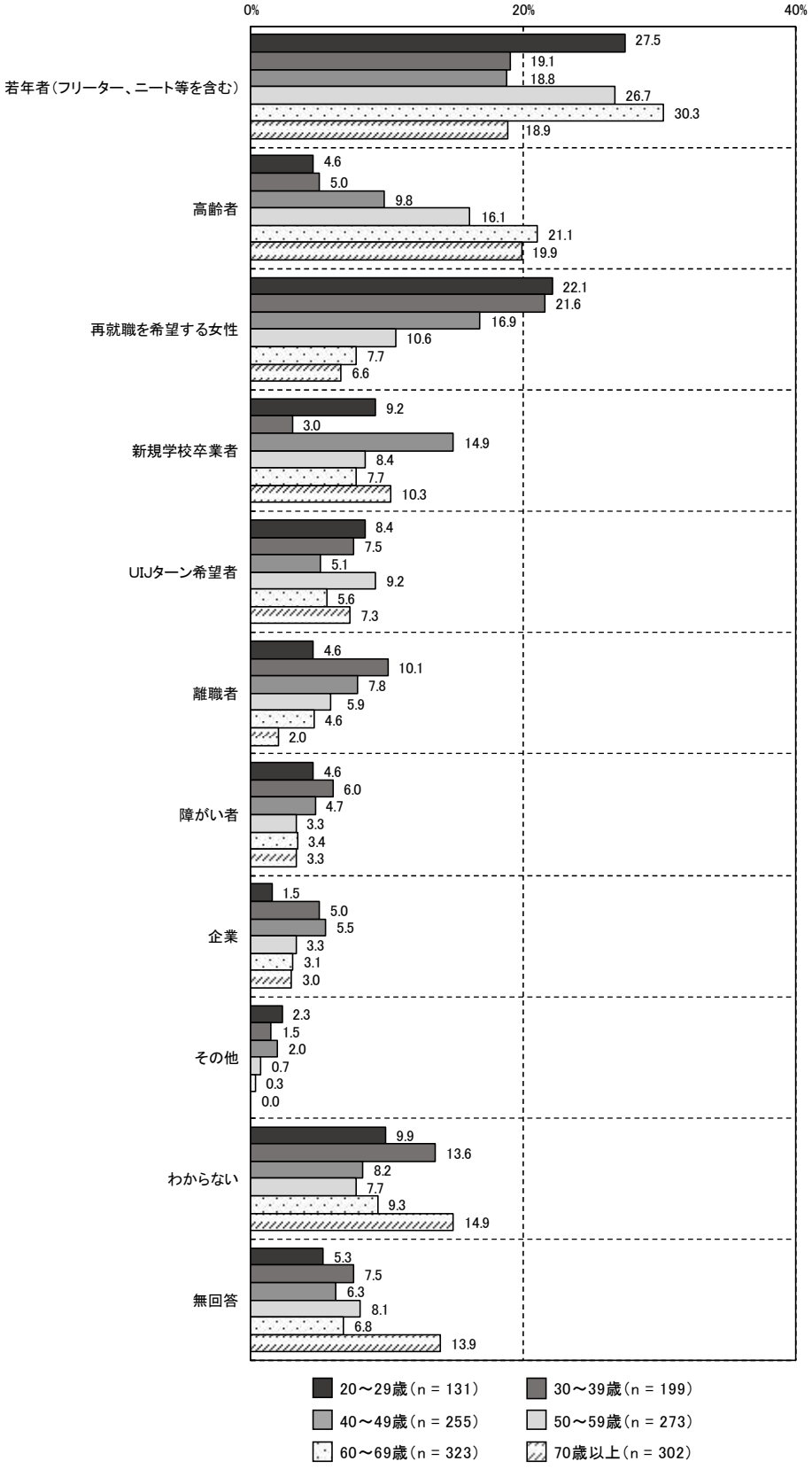
性別（図 22-2）でみると、男女ともに「若年者（フリーター、ニート等を含む)」が最も高く、男性が 26.4%、女性が 21.4%となっている。差が最も大きいのは「再就職を希望する女性」で、女性が男性より 11.1 ポイント高くなっている。

図 22-2【性別】雇用対策の取り組み



年代別（図 22-3）でみると、20 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代で「若年者（フリーター、ニート等を含む)」が最も高く、そのうち 60 歳代が 30.3%と最も高くなっている。30 歳代では「再就職を希望する女性」が 21.6%と最も高くなっている。70 歳以上では「高齢者」が 19.9%と最も高くなっている。

図 22-3【年代別】雇用対策の取り組み



居住圏域別（図 22-4）でみると、いずれの居住圏域においても「若年者（フリーター、ニート等を含む)」が最も高く、そのうち岐阜圏域が 25.6%と最も高くなっている。飛騨圏域の「ＵＩＪターン希望者」が 15.6%と、その他の圏域と比較して高くなっている。

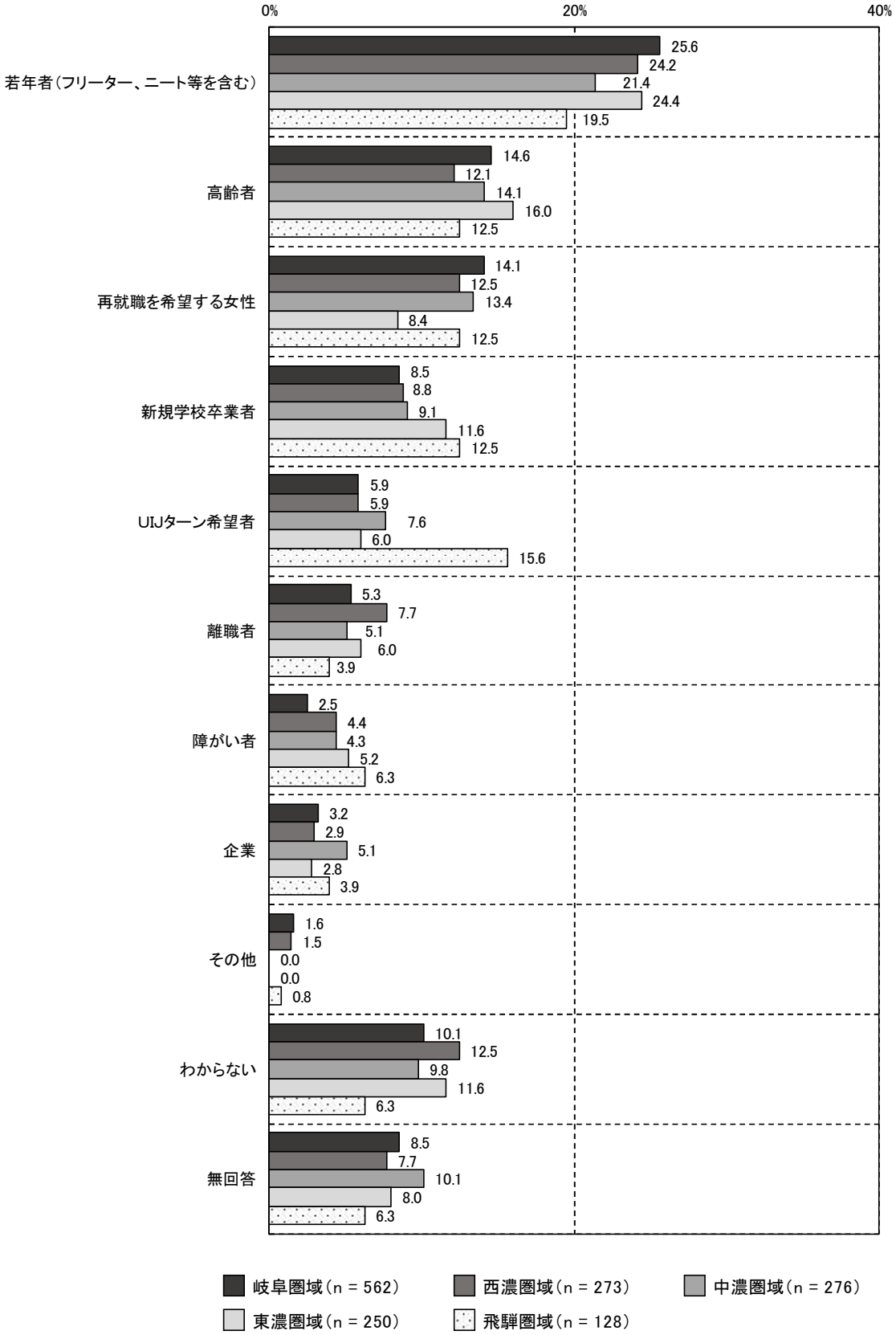



図 22-4【居住圏域別】雇用対策の取り組み